

ネットワーク接続 SSD
(BrightSign 対応)
BSNAS-FS1 取扱説明書

10 版

株式会社 エフスタジオ

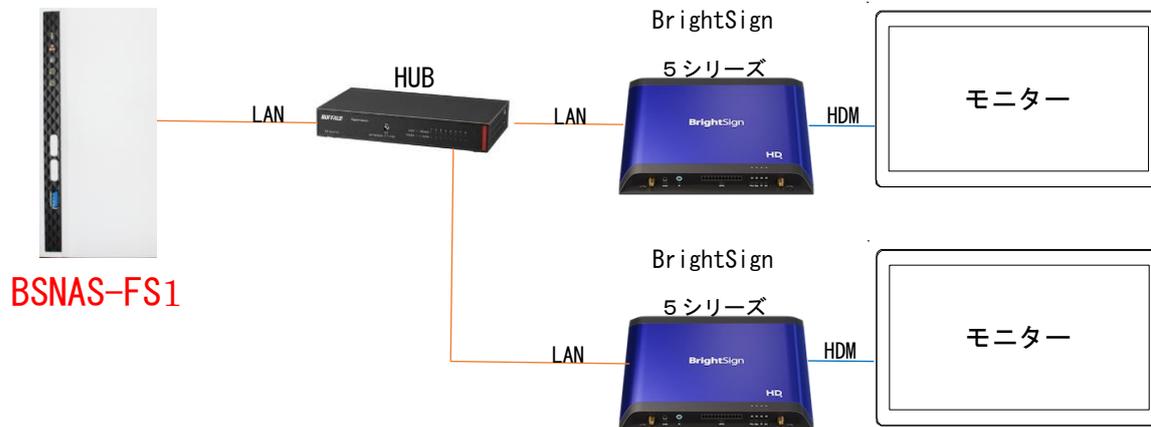
目 次

1. 主な機能.....	2
2. BrightAuthor:connected設定方法	3
3. USBメモリー 同期コピー.....	6
4. BrightSignへのUDP 送信ポート変更方法	7
5. IPアドレス設定変更方法.....	7
6. 起動終了時間の設定	9
7. UPSの接続設定.....	10
8. ブレーカーでの電源管理.....	11

1. 主な機能

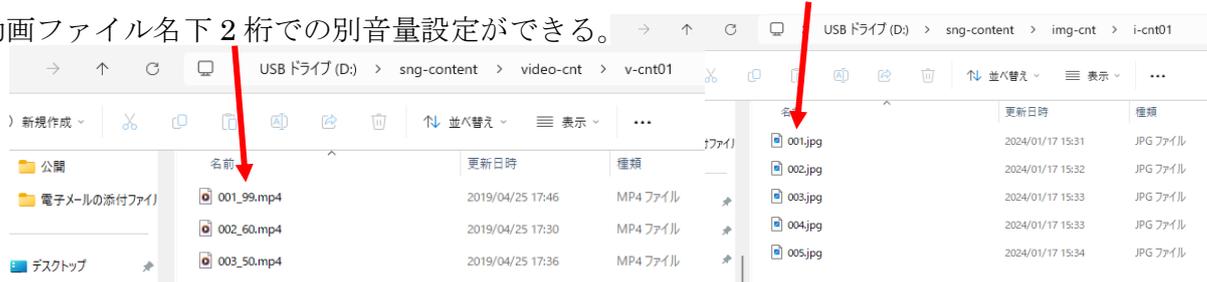
- BrightSign 5 シリーズより NAS 内 HTML コンテンツ経由でフォルダー内の動画静止画を上映する装置 **(インターレース動画は非対応)**

※BrightSign 5 シリーズ以降に対応。



- フォルダー内動画、静止画が複数で指定ファイル名の場合に順番に再生できる。

動画ファイル名下 2 桁での別音量設定ができる。



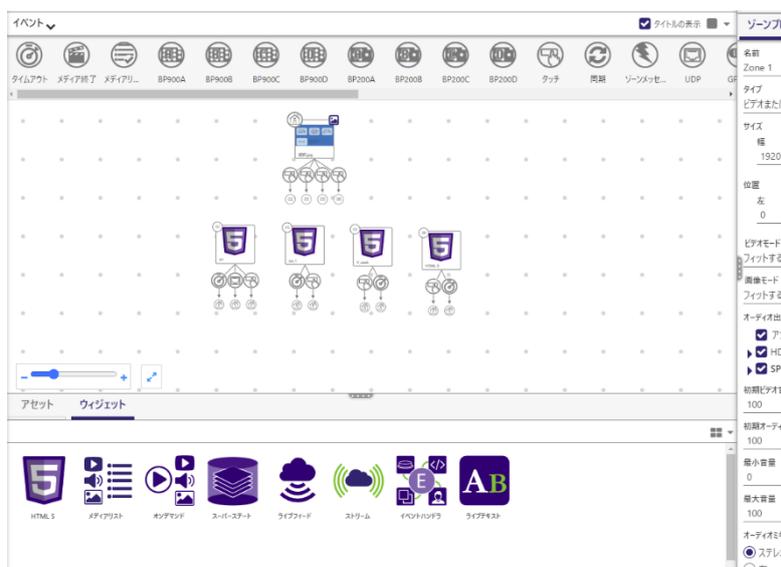
- 動画への簡易シーク機能を可能。



- BSNAS-FS1 の USB メモリー同期コピー機能を使う事で簡単に動画や静止画を更新する事ができる。



2. BrightAuthor:connected 設定方法



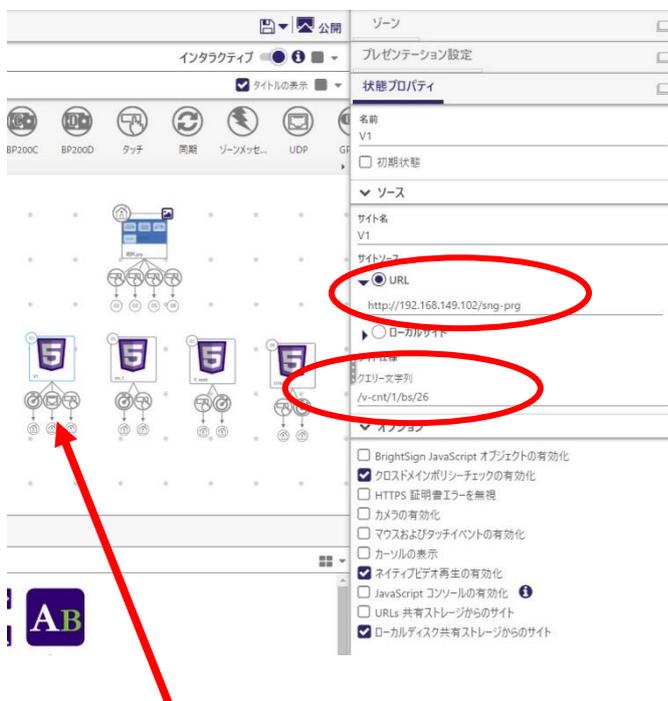
サイトソースへNAS内URL[http://192.168.***.*/sng-prg]を登録(***.*** NAS IPアドレス)
クエリー文字列(Query String)に機能に合わせて登録

■動画の場合

クエリー文字列

[/v-cent/1/bs/26]

記述説明「/動画フォルダー/フォルダー番号/bs/BrightSignIPアドレスホスト部」



全て動画再生終了でNASからBrightSignへUDP[hm]送信し戻る。

UDP[hm]を送らず、フォルダー内繰り返し再背の場合

[/v-cent/1/bs/26/loop]

記述説明「/動画フォルダー/フォルダー番号/bs/BrightSignIPアドレスホスト部/loop」

■ 静止画の場合

クエリー文字列

[/i-cnt/1/bs/26]

「静止画フォルダー/フォルダー番号/bs/IP アドレスホスト部」 (静止画切り替えは5秒カット切替)

- ・ 静止画拡張機能 1(切り替え時間設定)

[/i-cnt/1/bs/26/dur/7]

「静止画フォルダー/フォルダー番号/bs/IP アドレスホスト部/切替秒数」

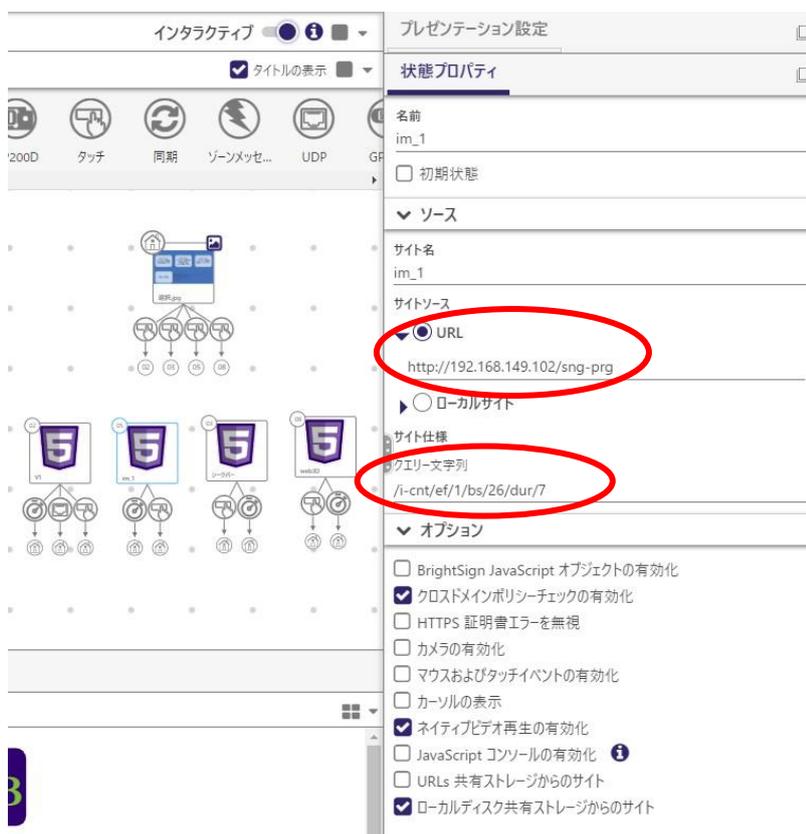
(静止画切り替えは7秒カット切替)

- ・ 静止画拡張機能 2(フェイド切り替え設定)

[/i-cnt/ef/1/bs/26/dur/7]

「静止画フォルダー/フェイド設定/フォルダー番号/bs/IP アドレスホスト部」

(静止画切り替えは7秒フェイド切替) ※LS はフェイド非対応

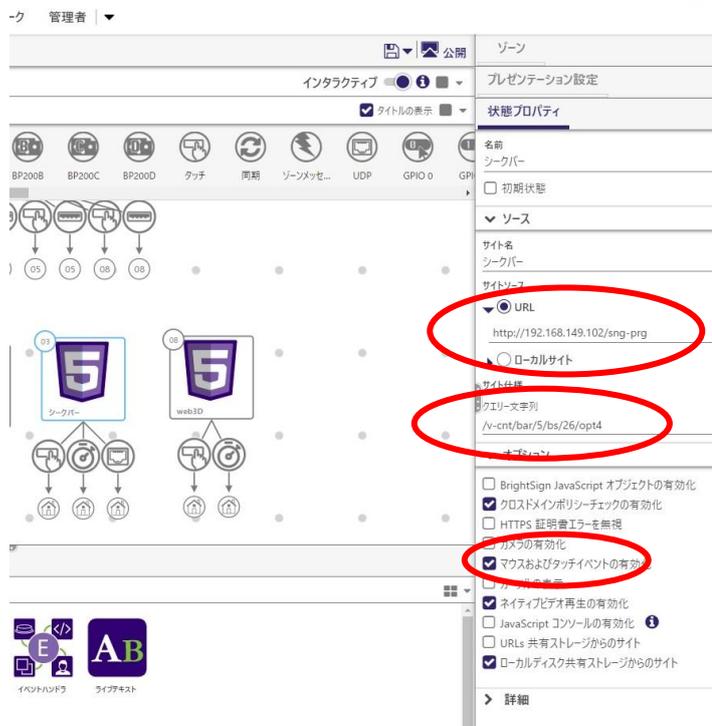


■動画簡易シーク機能設定

クエリー文字列

[/v-cnt/bar/1/bs/26/opt4]

「/動画フォルダー/シークバー/フォルダー番号/bs/BrightSignIP アドレスホスト部/シークバーの色」



バーの色

- opt1 青
- opt2 ピンク
- opt3 黒
- opt4 白

※一時停止を行って放置した場合、1分経過後、自動で再生開始します。

3. USB メモリー 同期コピー

USB を挿してからインジケータが点滅から点灯に変わり、コピーボタンを押して離すと
ブザー音が鳴り、同期コピー開始 点滅から点灯でコピー完了

コピーボタンを6から10秒押すとブザーが鳴り、インジケータ点灯が消灯してからUSBを抜いて完了



USB メモリー内のフォルダー構成は

¥sng-content¥img-cnt¥i-cnt01	(静止画フォルダー1)
¥i-cnt02	(静止画フォルダー2)
¥i-cnt03	(静止画フォルダー3)
¥i-cnt04	(静止画フォルダー4)
¥i-cnt99	(静止画フォルダー99)
¥prg-cnt	(プログラムフォルダー変更不可)
¥video-cnt¥v-cnt01	(動画フォルダー1)
¥v-cnt02	(動画フォルダー2)
¥v-cnt03	(動画フォルダー3)
¥v-cnt04	(動画フォルダー4)
¥v-cnt99	(動画フォルダー99)

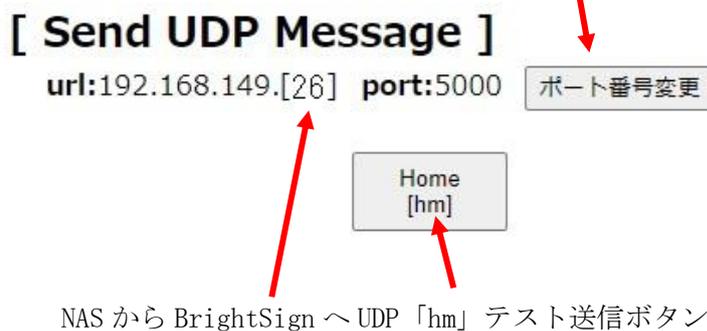
4. BrightSign への UDP 送信ポート変更方法

下記 NAS 内 URL へパソコンから表示させると変更できる。(デフォルト 5000)

http://192.168.***.*/sng-prg/pnl/26

尚、192.168.***.*** NAS IP アドレス

最後の文字は BrightSign IP アドレスホスト部となる。

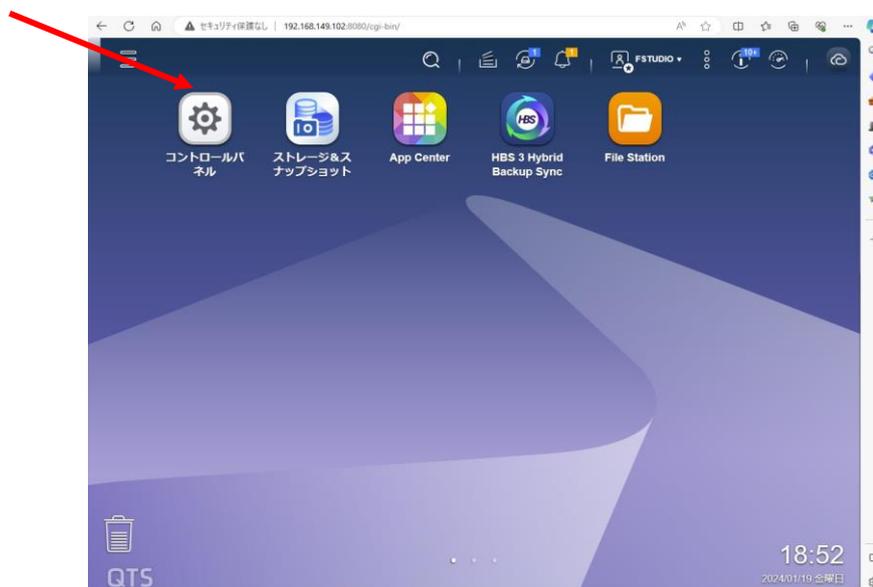


5. IP アドレス設定変更方法

下記 NAS 内 URL へパソコンから本体側面の管理者パスワードでログイン

<http://192.18.149.102:8080>

コントロールパネルを開く



コントロールパネルを開き ネットワーク・・・>>設定で変更できる。

ControlPanel

TS-233 ファームウェアバージョン: QTS 5.1.4.2596 CPU: Quad-core ARM Cortex-A55 Processor @ 2.0 GHz
 シリアル番号: Q237F010916 メモリ: 2 GB

システム

タイムゾーンと言語の設定を変更したり、ストレージ領域と外付けデバイスを管理したり、通知やセキュリティ保護を有効にしたり、NAS ファームウェアを更新したり、NAS を工場出荷時の設定に復元したりできます。

一般設定 ストレージ&スナップシ... セキュリティ ハードウェア
 電源 通知センター ファームウェア更新 バックアップ/復元
 外部デバイス システムステータス QuLog Center リソースモニター

権限設定

ユーザーとグループを作成したり、ローカルユーザーとドメインユーザーのアクセス許可を管理したり、ディスク割り当てを設定したりできます。

ユーザー ユーザーグループ 委任された管理業務 共有フォルダー
 クォータ ドメインセキュリティ ドメインコントローラ

ネットワークとファイルサー...

ネットワーク接続の管理、共有ファイルに対する QuFTP Service の設定、ごみ箱の保持レールの設定、Microsoft と Apple ネットワークセンターに対する NFS と WebDAV プロトコルの有効化ができます。

ネットワークと仮想スイ... ネットワークアクセス Win/Mac/NFS/WebDAV Telnet / SSH
 SNMP ネットワーク仮想スイッチ QuFTP Service ごみ箱

ネットワーク

概要
 ネットワーク
 インターフェイス
 DHCP サーバー
 アクセスサービス
 DDNS

インターフェイス Wi-Fi

システムの既定のゲートウェイ : Adapter 1 (自動)

アダプターリスト

アダプター:	Adapter 1 (1GbE)	業者名:	QNAP
状態:	接続済み	NIC モデル:	ARM Cortex-A55 Process
IP アドレス:	192.168.149.102	Service:	WOL
ネットワーク速度:	1 Gbps (MTU: 1500)		
VLAN:	--		

ゲートウェイ : 自動

- アクティビティモニター
- 設定
- VLANを追加
- 情報

設定

IPv4 IPv6 DNS

DHCP 経由で IP アドレス設定を自動取得する

静的 IP アドレスを使用する

固定 IP アドレス 192 168 149 102

サブネットマスク 255.255.255.0 (/24)

既定のゲートウェイ 192 168 149 1

ジャンボフレーム 1500

ネットワーク速度 自動交渉

適用 キャンセル

6. 起動終了時間の設定

<http://192.18.149.102:8080> からログインし

コントロールパネルを開き 電源>>電源スケジュールを開き設定できる。

ControlPanel

TS-233

ファームウェアバージョン: QTS 5.1.4.2596 CPU: Quad-core ARM Cort
シリアル番号: Q237F010916 メモリ: 2 GB

システム
タイムゾーンと言語の設定を変更したり、ストレージ領域と外付けデバイスを管理したり、通知やセキュリティ保護を有効にしたり、NAS ファームウェアを更新したり、NAS を工場出荷時の設定に復元したりできます。

権限設定
ユーザーとグループを作成したり、ローカルユーザーとドメインユーザーのアクセス許可を管理したり、ディスク割り当てを設定したりできます。

電源

電源スケジュール

電源スケジュール

EuP モードの設定 Wake-on-LAN (WOL) 電力復旧 **電源スケジュール**

スケジュールを有効にする
 レプリケーションジョブの進行中にスケジュールされた再起動/シャットダウンを延期する

追加 削除

電源操作	スケジュール	開始時間	ステータス	アクション
<input type="checkbox"/> シャットダウン	毎日	19:00	有効	
<input type="checkbox"/> サーバーの電源をオンに...	毎日	08:30	有効	

適用

7. UPS の接続設定

Omron と USB ケーブルで接続し UPS の電源を入れる。

<http://192.18.149.102:8080> からログインし

コントロールパネルを開き 外部デバイス>>UPS の設定画面。

The screenshot shows the ControlPanel interface for a TS-233 device. The main navigation menu on the left includes System, Permissions, Network and File Services, and Applications. The '外部デバイス' (External Devices) option is highlighted. The main content area shows the 'UPS' settings page, which is divided into 'UPS' and 'USB' tabs. The 'USB接続' (USB Connection) option is selected, and the '分間' (minutes) setting is set to 1. The 'SNMP接続' (SNMP Connection) option is unselected. The '自動保護' (Automatic Protection) option is also unselected. The 'ネットワークUPSサポートを有効にする' (Enable Network UPS Support) option is unselected. The '電源異常の場合、次のIPアドレスの通知を許可する' (Allow notification of the following IP address in case of power abnormality) option is unselected. The '適用' (Apply) button is visible at the bottom.

停電した場合のサーバーをオフにするを1分に設定

8. ブレーカーでの電源管理

Omron BY50S と USB 接続を確認

<http://192.18.149.102:8080> からログインし

コントロールパネルを開き 電源 > 電源スケジュールを開き。

ControlPanel

TS-233

ファームウェアバージョン: QTS 5.1.4.2596 CPU: Quad-core ARM Cort
シリアル番号: Q237F010916 メモリ: 2 GB

システム

一般設定

ハードウェア

ファームウェア更新

ストレージ&スナップシ

電源

電源

電源スケジュール

スケジュールを有効にする

レプリケーションジョブの進行中にスケジューされた再起動シャットダウンを延期する

電源操作	スケジュール	開始時間	ステータス	アクション
<input type="checkbox"/> シャットダウン	毎日	19:00	有効	
<input type="checkbox"/> サーバーの電源をオンに...	毎日	08:30	有効	

適用

アクションを開きサーバーの電源 ON 時間をブレーカー起動予定前の時間に設定
シャットダウン時間の設定を、ブレーカーを切る時間以降に設定

オムロンサイトより UPS ユーティリティをダウンロード、セットアップを行い
BY50S と設定用パソコンと USB ケーブルで接続

OMRON 無停電電源装置 | Japan

社会システムTOP | サイトマップ

UPSホーム | 製品情報 | サポート/サービス | 製品選定 | ご要者登録 | イン

ホーム > 無停電電源装置 (UPS) > 製品情報 > 電源管理ソリューション > UPS設定ユーティリティ

UPS設定ユーティリティ

主な特長

UPS設定ユーティリティは、UPSの各種設定を行うためのソフトウェアです。本ソフトウェアを使用することにより、UPSの設定を簡単に行うことができます。

例：停電時、シャットダウンソフトを使用せずにUPSを停止させる。
→「最大バックアップ時間設定」をする。

また、UPSの設定内容をファイルにバックアップしたり、他のUPSに設定内容を転送したりすることもできます。

設定可能項目 (UPSの機種により異なります)	ユーティリティ機能
(1) ブザー完全停止	(1) コマンドを送受信する機能
(2) 出力電圧設定	(2) 設定をバックアップファイルに保存する機能
(3) 電圧感度モード設定	(3) バックアップファイルから設定を戻す機能
(4) コールドスタート設定	(4) UPSの設定内容を読み出す機能
(5) 最大バックアップ時間設定	(5) UPSの設定をデフォルト値に戻す機能
(6) 自己診断テスト自動実行	

設定用パソコンのダウンロードを行った下記 UPSSettingTool を起動



UPS と接続し、基本設定の最大バックアップ時間を 5 分に設定。

UPS と BSNAS-FS1 間を USB ケーブルで再度接続。

停電後（UPS 供給電源を切る）、約 2 分半で BSNAS-FS1 の電源が切れ、5 分で UPS の電源が切れる事を確認。

※停電や臨時の運用の場合に、BSNAS-FS1 が起動しない場合が有るので
手動での起動を行う、長時間経過した翌日の起動は問題無い。